

真名井沢 沢登り山行報告

【山城】 奥多摩 大丹波川真名井沢

【日時】 2018年6月13日（水曜日）

【天気】 晴れ時々曇り

【参加者】 CL上茂 SL平野 石橋 萱野(香) 澤田(路) 井上(里)
山本 加藤 清野 松本 吉瀬 宮城(記録)

【タイム】 千葉 5:00(船橋 5:30)→中央道八王子 IC→青梅街道→川井から真名井線林→とりがや橋(脇スペースに駐車)→8:20 入溪→休憩(540m付近)→9:50 魚留の滝 10:50→休憩→11:10 取水パイプのある滝(休憩)→12:50 脱溪(標高 900m付近)→左ヘトラバース→13:26 赤杭尾根沿い林道→とりがや橋

【報告】

平日山行なのに 12 人!!

全員女性というアマゾネス!?な団体ご一行様で、奥多摩は大丹波川真名井沢へ行ってきました。

沢登りが1年以上ぶりの私は、前日よりドキドキ。

八王子 IC 下車後、ナビとは違う道に行く SL 車を追いかけて真名井線林道へ入ると、ちょっとしたオフロードです。

とりがや橋の脇スペースへ(そんなに広くないので、先行が地元車1台のみで良かった…)駐車し、準備をして入溪します。



左に古いモノレール(トロッコ?)線路、右にワサビ田と長閑な始まり。
堰堤をいくつか越えたら、入溪 20 分で最初の小滝です。初級者の私でも楽しく登れる小滝が続いて出てきて、ルンルンしてると汗ばんできます。
休憩を挟み、最初の二俣を左俣へ進むと、すぐに魚留の滝(6m)の登場です。



超ヌメった右から、CLが慎重にリードしてトップロープにしてくれます。
最初の数人はロープマンで登攀しますが、私達レベルの初級者のために、途中からは中間エイトで上から張ってもらう事に。

登り始めに、つるり！1m弱落ちた私の尻圧をモロに顔で受けたI姉さん。
本当にすみませんでした。(その後も、何でもない場所で2度ほど私の尻パンチを顔に見舞いました。大丈夫だったのでしょうか…。ツール・ド・モンブランに影響が出てない事を祈るばかりです)

梅雨の晴れ間に恵まれ、広葉樹林も美しく、気持ちよく水と戯れた一行です

が、人数が多いので魚留の滝の通過に軽く小一時間。

陽も陰ってきて待っている間は肌寒く、各自、レイヤリングします。

待ち時間に陽が陰ると、寒い…



その後、取水パイプの近くにある 5m 滝 (CL が蜘蛛の糸ならぬ、お助けスリングを垂らす) や、最後の方に出てくる倒木を利用して登る滝 (左にホールドがいっぱいあり、シャワーしなくても登攀できる) 以外は、小滝の連続で楽しい沢を満喫します。

そのうち、だんだんと倒木が増えて来て、標高 900m 付近より脱溪。

「稜線まで登って詰めなくても、左へ行けば登山道に出るよね」

地図を見ながらのベテランさん、その素敵なお言葉に力強く頷く私。

薄っすらとある踏み跡を下降気味にトラバースすると、30 分弱で赤杭尾根沿いの林道に出ます。

少し下って沢装備を履き替え、お喋りしながらのんびり下山開始。

途中のカーブミラーから尾根に入るショートカットの斜面はとっても急で、緩んだ気持ちが立て直せずに割愛します。

(ネットのブログでは、かなり辛い下りが待っていたそう)

その後、ずいぶんと下ってから再びショートカット (石に駐車場の印あり) のチャンスが巡ってきたので、距離も短いことから、今回は皆で頑張ったのでした。山椒の香りに包まれた短いながらもハードな山行終わりでした。

た。





ニヒルなポーズ
からのお〜

懐かしのU氏ばりの
傾きヘルメット
Iさん



CL、SL、ご一緒に下さった皆様、楽しい一日をありがとうございました。
宮城（記録）